

佐濃自治会だより

2024年3月25日(月)

佐濃自治会発行

【第145号】

長野：大岸神社“社日祭”

3月17日(日)長野区の大岸神社では、恒例の“社日祭”が行われました。

本自治会では、令和6年から各集落の伝統的行事を映像で残す取組を行っており、今回は“社日祭”取材しました。

● 年2回実施

社日とは、春分・秋分のそれぞれに最も近い戊(つちのえ)の日のことです。

春分と秋分は1年に1回ずつあるため、社日は年2回あることになります。春の社日は種まき、秋の社日は収穫の時期に当たり、社日は昔から農業において大切な日とされてきました。そのため、社日は土地の神様を祭る日として扱われています。

社日を祝う習慣は、もともと中国にあったものです。この習慣が中国から伝来すると、土地の神様を信仰する日本の風土と融合し、農業における重要な儀式として広まっていったといわれています。(ネットより)

長野区の社日には、例年近隣の坂谷区と竹藤区の区長を招待しており、両区長は神事から参加します。

● ちぎり餅を配る

長野の社日祭の特色は、神事終了後参拝者に右の写真のような平な餅をちぎって配るところです。この日地元の人たちは、ビニル袋を持って参拝。ちぎり餅と赤飯をもらって帰られました。

私たち取材班もちぎり餅と赤飯をいただきました。



● 赤飯も配られる



令和5年度修了式



● 開校から5年

3月19日(火) 令和5年度おとなの笑学校修了式を3部構成で実施しました。

おとなの笑学校は令和元年に60歳以上のシニア世代を対象に地域を元気にしていく活動として開校しました。

第1部 大正琴

この日は令和5年度の修了式ということで、第1部は大正琴グループ「ドリーム」が出演。「春がきた」「早春賦」など6曲を演奏してもらいました。

修了式に出席した30名は大正琴が奏でる思い出の曲、懐かしい曲に耳を傾けていました。

第2部 歌声 リクエスト曲も…

第2部は歌声喫茶です。3月は春の訪れとともに、別れ・旅立ちの季節です。

上田美知子さんのギター伴奏にキーボードを入れて「春なのに」「なごり雪」「いい日旅立ち」を歌いました。とてもいい歌声が会場全体に響きました。

今回は美空ひばりの「みだれ髪」のリクエストがあり、演歌に挑戦。「みだれ髪」は音域が広い曲です。

初めて歌った曲でしたが、音程もしっかりしていて、とてもしっとりと唄っていて大変驚きました。



第3部 詩の朗読と5年間の思い語る

第3部は、90歳からの詩人 柴田トヨさんの詩のいくつかをスタッフが朗読。また、おとなの笑学校5年間の思いも語りました。

最後は全員が「ほたるの光」を歌って、令和5年度修了式が感動の中で幕を閉じました。

● 次年度も継続

おとなの笑学校スタッフ4名は、令和6年度について継続するかどうかを相談しました。

次年度は6年目、卒業の年です。「卒業まではやろう」と6年度も継続することを確認しました。



貯金	柴田トヨ
私ね 人から やさしさを貰ったら 心に貯金をしておくの	さびしくなった時は それを引き出して 元気になる。
あなたも今から 積んでおきなさい	年金より いいわよ。



修了式の記念品